

令和元年度「港湾施設の維持管理に関する技術講習会(第2回)」を開催

東北地方整備局では、平成28年度からはじまった標記講習会を、昨年度に引き続き、管内の港湾管理者及び民間施設所有者並びに当局において港湾施設の維持管理業務等に従事する職員を対象に、港湾施設の適切な維持管理に対応すべく実務技術のスキルアップ向上を目的に、今年度の第2回目を、秋田港において開催しました。

<背景>

港湾においては、高度経済成長期に集中的に整備された施設の老朽化が進行しており、港湾の基幹的役割を果たす岸壁では、建設後50年以上の施設が、現在の約10%から20年後には約60%まで急増する状況にあります。このような中、老朽化が起因とみられる陥没事故等が頻発している状況にあり、維持管理計画に基づく適切な維持管理の推進が求められている。

<開催概要>

○会場: 秋田港

○日時: 令和元年10月31日(木) 13:30～11月1日(金) 15:00

○参加者: 24名(青森県4名、秋田県5名、山形県2名、民間事業者2名、東北地方整備局11名)

○内容

1日目は、港湾施設の維持管理に関する基礎的な知識(維持管理計画の策定方法、施設の点検診断計画・点検診断手法、総合評価、直営による施設の点検診断手法、補修工法等)について講義を行いました。

2日目は、実際に岸壁において、海洋・港湾構造物維持管理士からアドバイスを受けながら施設の点検診断実習を行い、その結果をもとに施設の総合評価を行いました。また、直営による維持管理計画書及び点検・診断計画の策定に関するグループ討議を行いました。

受講者は講師の話に熱心に耳を傾けるとともに、討議においても活発な意見交換がなされ、港湾施設の維持管理に対する関心の高さが伺えました。

参加者からは、「机上の資料だけでなく実際に現地の施設状況で体験することで理解が深まった。」、「意見交換を行う場が少ないので引き続きこのような講習会を開催してほしい。」等の感想が聞かれ、本講習会で学んだ内容が今後、港湾施設の適切な維持管理に活かされることに期待します。



【講習会状況】



【点検診断実習状況】



【班別討議状況】